

登録コード	A3Y49200	開講年度	2026		
授業科目	高冷地域植物生産生態学演習				担当教員 阿久津 雅子 他
英文授業名	Field Science Seminar for highland Agriculture				今井 裕理子
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期
講義室	野辺山ステーション	授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当				
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】
	2 0 2 5 Aカリ				
	【2025年度以降カリキュラム対象】2.【専門性】 農学分野の専門的な学識と技術が身についている。				農学に関する広い知識・技術を修得している
	【2025年度以降カリキュラム対象】3.【情報分析・発信力】 論理的な思考力のもと、多様な情報を収集・分析・活用できるとともに、効果的に伝えることができる。				農学に関する広い知識・技術を修得している
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生				
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース				
(4)授業の概要	この演習は、高冷地域という環境下における農業について学び、持続可能な農業生産について考える機会を創出することを目的とした演習です。また、共同作業の重要性を知り、協調性を養う機会を創出することも目的とする。野辺山農場及び構内農場で栽培される多くの園芸作物を教材に、近隣のJA施設見学などを通じて、高冷地域における作物の栽培から収穫・出荷までを学びます。				
(5)授業計画	8月17日(月)～8月20日(木) 1日目(月)：集合・バス移動(野辺山農場) 午後：ガイダンス、南牧村もしくは川上村の農家と出荷場の見学 夜：高冷地農業についての講義 2日目(火)：午前：高冷地作物の収穫・出荷作業 午後：同上 作業後：バス移動(野辺山農場) 3日目(水)：午前：構内農場に集合し、農家見学(果樹農家) 午後：野菜・果樹類の収穫、栽培管理 4日目(木)：午前：農家見学(野菜農家) 午後：レポート作成、アンケート回答				
(6)自主学習の指針	演習で扱うキャベツ、トウモロコシ、ペニバニンゲンなどの蔬菜および果樹類などの特性などについて論文や書籍を読んでおくことを勧める				
(7)成績評価の基準	演習前半は野辺山STに、後半は構内STに滞在し、演習プログラムに参加するとともに、圃場作業等に自ら積極的に参加する、高冷地と準高冷地の園芸作物の栽培・管理を体験し、実際の高冷地域農業の現場について理解を深め、共同作業にともなうルールを遵守し他の受講生と協力しながら行動できた場合「卓越している」とする。 ()は受講の際の必須条件とする。()～()のうち、()に関して体調不良等の理由により0.5日演習に参加できなかった場合「かなり上にある」、1日演習に参加できなかった場合「やや上にある」、1.5日演習に参加できなかった場合「水準にある」とする。				
(8)事前事後学習の内容	演習開始までに高冷地域農業の課題などを事前学習として調べておくこと				
(9)テストやレポートの予定	○レポートは提示された課題について実習期間中に作成して、最終日に提出 ○最終日の演習終了前の15分間は演習に関するアンケートに回答するための時間とする				
(10)成績評価の方法	○受講態度により60点、レポート内容・感想により40点で評価します。 評価基準は以下の通り。 秀：90点以上（授業の達成目標の水準からみて卓越している） 優：80～89点（授業の達成目標の水準よりかなり上にある） 良：70～79点（授業の達成目標の水準よりやや上にある） 可：60～69点（授業の達成目標の水準にある） 不可（D）：50～59点（授業の達成目標の水準よりやや下にある） 不可（E）：49点以下（授業の達成目標の水準よりかなり下にある）				
(11)質問、相談への対応および連絡先	質問は適宜受け付けます 蔬菜園芸学研究室（AFC構内ステーション農場研究棟） 阿久津：akutsu@shinshu-u.ac.jp				
(12)履修上の注意	* 宿泊可能人数、バス乗車定員(40名)が制限されるため、受講可能人数を超過した場合、調整させていただきます。また、高冷地域植物生産生態学演習は原則として植物資源科学コースの希望学生が履修登録して下さい。 * 高冷地域動物生産生態学演習、高冷地域生物生産生態学演習との重複履修は認めません。 ○ 傷害保険に加入していることを履修条件とする ○ 演習期間中の食事費等(2,000～3,000円)を現地で徴収する				

(12)履修上の注意	○ 集合日時：演習初日9:00に信州大学農学部(南箕輪村)に集合する。 ○ 持物は、医療保険証，作業着（長袖，長ズボン），日焼け用帽子，作業手袋，長靴，日焼け止め，筆記用具，水筒，宿泊に必要な身の回り品（洗面具，タオル，着替え，ゴミ袋を含む）等です ○ 高冷地は夏季でも朝晩は冷えるため，防寒対策を忘れないようにして下さい ○ 天候と実習対象作物の生育状況などにより，予定を変更することがあります ○ 動物実習と植物実習に人数の偏りがあった場合は変更をお願いする可能性があります ○ 食料生産システム科学コースの学生を優先します
【教科書】	特に指定しません
【参考書】	特に指定しません